

# 編集方針

## 編集方針

- ・積水化学グループ（以下、当社グループ）は、今回よりCSRレポートをサステナビリティレポートへ改称しました。当社グループが対象とする課題、そして、社会から求められる役割が環境への対応からCSR、CSRからサステナビリティに変遷したことに加え、より長期的な視点に立った情報開示への要請に対応するものです。「サステナビリティレポート」では、当社グループがサステナブルな社会と当社グループの持続的な成長のために実施する活動に対する理解を深めていただくことを目的に、関連する様々な取り組みをステークホルダーの皆さまにお伝えしております。
- ・長期ビジョン「Vision 2030」のもと、サステナブルな社会の実現に向けて、LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造するため、ESG経営を強化していく必要があると考えています。そして、当社グループのESG経営における重要課題を「ガバナンス（内部統制）」「DX」「環境」「人材」「融合」と定め、これらを軸に本レポートを構成しています。
- ・掲載情報は、各種の報告書作成ガイドライン等を参考に、社内外のアンケートや第三者からのレビューなどを踏まえ、社会にとっての重要性と当社グループにとっての重要性の両方を考慮し、決定しています。
- ・「サステナビリティレポート2022」の読者として、ESG評価機関および長期投資家をはじめとした、当社グループに関わりあるすべてのステークホルダーを想定して編集しています。
- ・この「サステナビリティレポート2022」は、情報の網羅性と読みやすさを両立させるため、当社グループのサステナビリティに関するすべての情報を当社Webサイトに集約させています。なお、PDF版とHTML版の2種類があり、「サステナビリティレポート2022（PDF版）」はWebサイトの「PDFダウンロード」より取得できます。
- ・報告している主要パフォーマンス指標の算定基準は、各パフォーマンスデータの後にまとめて記載しています。
- ・「サステナビリティレポート2022（PDF版）」に掲載している環境・社会情報は、信頼性確保のため第三者機関による保証を受けています。

## 参考にしたガイドラインなど

- ・GRIスタンダード
- ・環境省「環境報告ガイドライン（2012年版）」「環境報告ガイドライン（2018年版）」
- ・ISO26000（社会的責任に関する手引き）
- ・国連グローバル・コンパクトの10原則

# 報告対象範囲

## 本レポートの報告対象範囲

対象組織：事業活動の主要をなす事業所を中心とした積水化学グループの活動を基本としています。

対象期間：2021年4月～2022年3月（活動内容は一部期間外のものも含まれます）

発行日：2022年7月（前回報告書発行2021年7月/次回発行予定2023年7月）

## 第三者保証対象範囲について

「サステナビリティレポート2022（PDF版）」に掲載している環境・社会情報については、第三者機関による保証を受けており、その対象となる情報については、を記載しています。なお「独立した第三者保証報告書」は、第三者保証報告書掲載のページからご覧いただけます。

## 免責事項

「サステナビリティレポート2022」には「積水化学工業（株）とその関係会社」の過去と現在の事実だけでなく、発行時点における計画や見通し、経営計画や経営方針に基づいた将来予測が含まれます。今後の諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果や事象がこの予測とは異なったものとなる可能性があります。また、記載の表やグラフの数値は四捨五入などして表記してあるため、合計値と異なる場合があるほか、集計範囲の拡大、算出方法の見直しおよび環境負荷係数の改定にともない、一部過年度データを修正している項目があります。

### 表紙の図について

積水化学グループでは「サステナブルな社会の実現」と「当社グループの持続的な成長」の両立の実現を目指し、その鍵となる「①際立ち」「②社会課題解決」「③未来につづく安心」の3つのステップを、ステークホルダーとともに着実に実践しております。



ESG 経営概念図